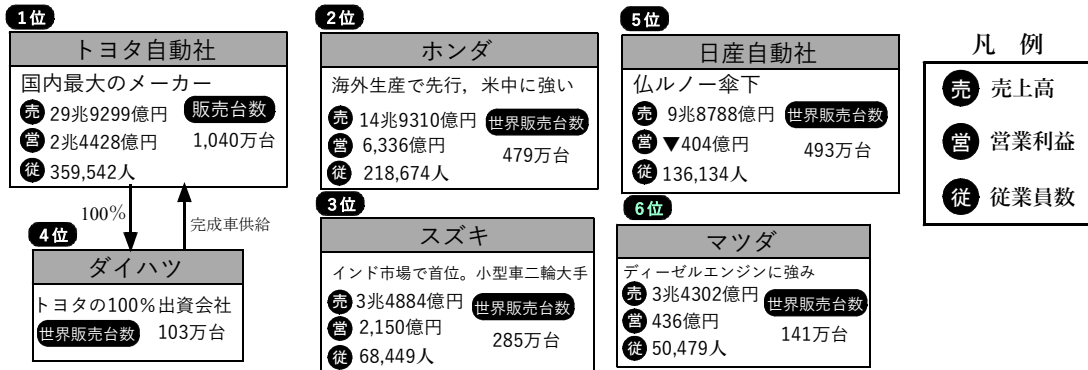


2020年からの新型コロナの感染拡大によって経済危機に見舞われています。人の移動制限で航空産業や観光、外食、サービス産業などの需要が急激に減少し、生産減、貿易減を通じて世界経済を急縮小させています。日本においても緊急事態宣言の中で収入を絶たれた企業の経営の悪化が急増し、感染が本格化した20年3月から7月まででコロナ関連での破綻は309件にも上り、先が見通せない状況となっています。これらは新年度の新卒者の雇用に大きく関係してきますので、主な産業の動向を紹介しておきますので、よく勉強して来年度の進路選択の資料としてください。

1. 自動車

(国内)

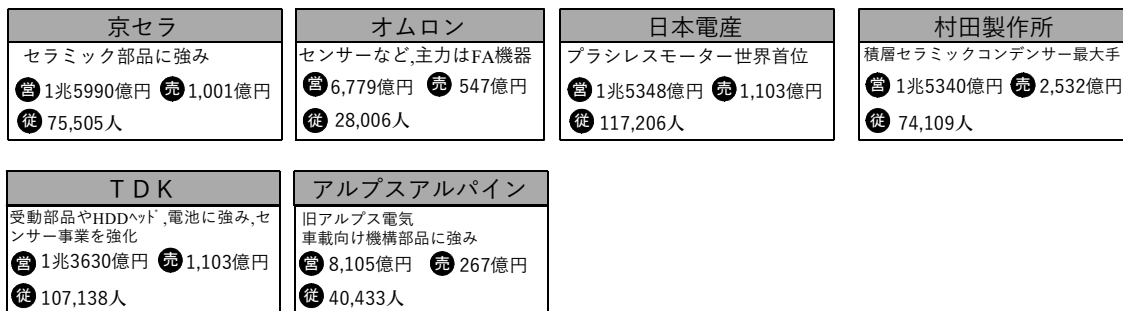


2019年度の国内新車販売台数は前年度比4.2%減となり、4年ぶりにマイナスに陥った。2020年度はさらに新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあって19年比11.5%減の460万台にまで落ち込んでいる。21年も1都3県を対象に緊急事態宣言が再び発令される見込みで、今後の動向が注目していく必要がある。

心配な点はこればかりではなく、世界的な半導体の供給不足が自動車業界に、さらなるマイナス要素をもたらしている。在宅勤務によるパソコン需要拡大、また第5世代移動通信システム関連開発に加え、「巣ごもり消費」でゲーム機向けの需要も旺盛で、業界を越えた半導体の「争奪戦」となっている。そのため一定車種の減産や海外工場の生産をストップさせて生産調整に入っている会社も出てきている。半導体の製造はほぼ台湾などの海外メーカーに集中しており、生産能力が限界に達している状況だ。自動車業界にとってはさらに冷や水を浴びせられている格好となっている。これらが来年度の採用にどう影響していくか注視したいところだ。

自動車業界では次世代技術の「CASE(コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化)」への対応が急務である。業績悪化のなかでも各社とも生き残りをかけて研究開発を進めている。TVのCMトヨタタイムでは、「オープン・シティ」が紹介されており、NTTなどと組み、自動車移動のデータを収集・分析することにより、渋滞解消など都市効率化に繋げる試みも実証実験されている。今後は通信関係や電機半導体メーカーとの業界を越えた連携が活発化されていくだろう。

2. 電子部品



ここでいう電子部品は電子機器に搭載されている部品の総称で取りまとめる。

次世代通信規格「5G」関連の投資が電子部品市場の需要を牽引している。通信基地局や対応スマホに加え、通信されるデータ量の増加を受けて投資が活発化するデータセンター向けの需要増加も見込まれている。自動車市場も1台あたり搭載される電子部品の総数が多い電気自動車の販売台数が増えると電子部品市場も拡大していくとみられる。

2020年はコロナウイルスの影響で海外に生産拠点を持つ電子部品メーカーの工場が相次いで停止して、成長にも長期的に影響を及ぼすと考えられたが、自動車業界の項で紹介したように半導体の需要拡大により、状況が変わってきた。1月15日の新聞によると京セラ川内工場においては、主力となる半導体部品の受注が昨年夏から急増しているため、春までに新たに正社員300人の新規人員確保を目指しているとのことである。現在は半導体の需要拡大傾向が続いており、それに伴い電子部品関係の会社も好況を呈していくと考えられる。これまでも半導体産業は4年単位で好不況を繰り返す「シリコンサイクル」という経験則が存在しているので、各社の工場は全国に配置されており、転動する可能性もゼロではないということも考えながら、進路を考えることも必要なのではないだろうか。

### 3. 鉄道

#### JRグループ

JR東日本	
鉄道最大手。不動産賃貸や「駅ナカ」事業を展開。	
● 売 2兆9466億円	● 営 3,808億円
● 従 71,812人	
● 営業キロ 7,402 km	

JR東海	
東海道新幹線が収益の柱。2027 リニア開業が焦点。	
● 売 1兆8446億円	● 営 6,561億円
● 従 29,603人	
● 営業キロ 1,971 km	

JR西日本	
山陽新幹線を保有。大阪駅-シャングライなどの不動産・流通事業を強化	
● 売 1兆5082億円	● 営 1,606億円
● 従 48,323人	
● 営業キロ 4,903 km	

JR九州	
九州新幹線の全線開通が追い風。豪華環台列車「ななつ星」が話題に。	
● 売 4,326億円	● 営 494億円
● 従 17,450人	
● 営業キロ 2,273 km	

#### 私鉄

東京メトロ	
都内を中心に9路線を運営。政府と都が大半を担う。	
● 売 4,331億円	● 営 899億円
● 従 98,650人	
● 営業キロ 195 km	

小田急電鉄	
新宿拠点に神奈川方面に路線。箱根観光とロマンスカーが有名。	
● 売 5,341億円	● 営 411億円
● 従 14,193人	
● 営業キロ 121 km	

西武ホールディングス	
傘下に西武鉄道。プロ野球球団を所収。	
● 売 5,545億円	● 営 568億円
● 従 23,504人	
● 営業キロ 177 km	

近鉄グループホールディングス	
新路線距離は私鉄最長。奈良と大阪が地盤。	
● 売 1兆1,942億円	● 営 493億円
● 従 14,193人	
● 営業キロ 501 km	

鉄道会社は不況に強いという認識があったが、コロナウイルスの蔓延により、状況は一変した。

JR旅客6社の2020年度中間決算を見てみると、鉄道運輸収入は、JR東海を除く5社が対前年度比で40%台。新型コロナで、鉄道の売上げの半分以上が吹っ飛んだ形になった。とくに低かったのがJR東海で、26%と落ち込こんだ。JR東海は全収入における東海道新幹線の売上比率が高いという特徴があるので、そのような決算となっている。

現在の状況を見てみると、JR西日本では、10月の運輸収入は近距離が対前年比74%、中長距離が52%、定期が125%となっていて、定期客が急に戻っていることがわかる。利用状況では東海道新幹線が47%、近畿圏が79%となっていて、こちらも中長距離客が約半分、通勤・通学客は8割方戻ったことがわかった。JR東日本でも同じような結果が発表され、この回復状況は、おそらく大手私鉄を含め、全国共通とみられる。春先のガラガラの状況は終わったと言えるだろう。

ただ、テレワークが普及した状況で、どこまで鉄道利用が戻るかは疑問だ。通勤・通学客がコロナ前と同じように勤務先や学校に通うとは限らないし、ウェブ会議で事足りることを知った企業は、出張を絞ると考える。観光客もインバウンドが復活するまで100%にはならないだろうし、それには数年はかかると考えられる。

このような経営状況から本校への求人に対しても「7月当初に予定していた求人数から約半数にします。」との連絡があった鉄道会社が数社あった。以上のことから、来年度の採用に関しても厳しい状況になるのではないかと考えられるので、志望する鉄道会社の情報を集めた上で、進路決定する必要があると思う。

### 4. 建設

#### スーパーゼネコン5社

鹿島	
不動産開発に強み。土木技術の重視の社風と超高層ビルに実績。	
● 売 2兆107億円	● 営 1,319億円
● 従 18,673人	
● 建築：土木比率=6：4	

清水建設	
民間建築が主力。伝統建築の技術も有す。環境エネルギー事業に注力。	
● 売 1兆6,982億円	● 営 1,338億円
● 従 16,297人	
● 建築：土木比率=7：3	

大成建設	
ゼネコンでは珍しい非同族会社。設計施工一貫方式を目指す。	
● 売 1兆7,513億円	● 営 1,677億円
● 従 14,562人	
● 建築：土木比率=7：3	

大林組	
関西に強固な地盤。東京スカイツリーを施工。	
● 売 2兆703億円	● 営 1,528億円
● 従 14,993人	
● 建築：土木比率=8：2	

竹中工務店	
建築特化型のゼネコンで非上場企業あへのハルカスを設計施工。	
● 売 1兆3,520億円	● 営 802億円
● 従 14,993人	

#### 準大手ゼネコン

- ・長谷工コーポレーション
- ・五洋建設
- ・三井住友建設
- ・戸田建設
- ・前田建設工業
- ・フジタ（大和ハウスグループ）
- ・西松建設
- ・安藤・ハザマ

ゼネコン（総合建設業）が手掛ける工事は土木、建築に大別される。土木工事は公共工事がほとんどで、建築は民間工事が大半を占める状況だ。

国内の好景気に東日本大震災の復興需要と東京オリンピック決定に伴い首都圏を中心に再開発が相次いだ。好調な民間投資に支えられ、建設業界は需要超過的な状況が続いている。また施工できる規模や件数は抱えている人の数で決まる。大型再開発に人員を割いている大手建設会社では繰越工事が多く残っているため、これら工事ではしばらく稼ぎ続けられる。

建設工事は地域・場所・環境によって変化し、同じ形状の建造物はほとんどないため、人の能力に依存する割合が高い。少子高齢化によって人手不足が顕著化し、施工技術を習得するためには、経験が必要で時間がかかる。このため、その継承が課題となっている。バブル崩壊やリーマンショックによって採用を停止したりした影響で職員構成がいびつになり、その点を解消するため、どの建設会社も採用を積極的に進め、施工技術の継承に力を入れている。また、週休二日の実現やきつい作業のロボット化、ICT活用による作業の効率化などで建設業界の魅力向上に取り組んでいる。